

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 5 月 19 日 (2016.5.19)

【公開番号】特開 2016-6122 (P2016-6122A)

【公開日】平成 28 年 1 月 14 日 (2016.1.14)

【年通号数】公開・登録公報 2016-003

【出願番号】特願 2015-189533 (P2015-189533)

【国際特許分類】

C 0 7 C 233/05 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/20 (2006.01)

C 0 8 L 23/00 (2006.01)

C 0 8 L 25/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 233/05

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 5/20

C 0 8 L 23/00

C 0 8 L 25/06

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 3 月 23 日 (2016.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

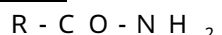
【 0 0 5 8 】

全ての精製酸およびこの精製酸から導かれた本発明に係る精製アミドは先行日本特許：特公昭 48 - 13935 号公報の 3 ~ 10 よりも大幅に低いヨウ素価を有している。

本発明の実施態様の一部を以下の項目 1 - 12 に列記する。

[1]

式 I :



(但し、R は 11 ~ 23 個の炭素原子を有する飽和分岐炭化水素鎖で、R-CO-NH₂ 分子の少なくとも 60 質量 % がモノアルキル分岐を有し且つ R-CO-NH₂ 分子の 25 質量 % 未満が多アルキル分岐を有する。)

の分岐第一脂肪酸アミド混合物であって、前記分岐第一脂肪酸アミド混合物がゼオライト触媒を使用することを含む方法によって得られる分岐第一脂肪酸混合物から導かれる、前記脂肪酸アミド混合物。

[2]

前記 R-CO-NH₂ 分子の少なくとも 70 質量 % がモノアルキル分岐を有する項目 1 に記載の分岐第一脂肪酸アミド。

[3]

前記 R-CO-NH₂ 分子の 20 質量 % 未満が多アルキル分岐を有する項目 1 又は 2 に記載の分岐第一脂肪酸アミド。

[4]

R が 13 ~ 23 個の炭素原子を有する項目 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の分岐第一脂肪酸アミド。

[5]

前記モノアルキル分岐が、メチル、エチル、プロピル又はそれらの混合物である項目 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の分岐第一脂肪酸アミド。

[6]

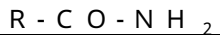
前記モノアルキル分岐が、少なくとも 80 % がメチルである項目 5 に記載の分岐第一脂肪酸アミド。

[7]

100 g 当たり 2 . 8 g ヨウ素以下のヨウ素価を有する項目 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の分岐第一脂肪酸アミド。

[8]

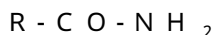
式 I :



(但し、R は 11 ~ 23 個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、 $\text{R}-\text{CO}-\text{NH}_2$ 分子の少なくとも 60 質量 % がモノアルキル分岐を有しそして $\text{R}-\text{CO}-\text{NH}_2$ 分子の 25 質量 % 未満が多アルキル分岐を有する。) の分岐第一脂肪酸アミドのポリマー中でのスリップ剤および / 又は抗ブロッキング剤としての利用法。

[9]

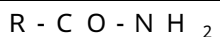
式 I :



(但し、R は 11 ~ 23 個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、 $\text{R}-\text{CO}-\text{NH}_2$ 分子の少なくとも 60 質量 % がモノアルキル分岐を有しそして $\text{R}-\text{CO}-\text{NH}_2$ 分子の 25 質量 % 未満が多アルキル分岐を有する。) の分岐第一脂肪酸アミドのポリマー中での離型剤としての利用法。

[10]

単層および共押出しのポリオレフィンフィルムのスリップ性を増大させそしてブロッキングを低減させる方法であって、式 I :



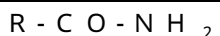
(但し、R は 11 ~ 23 個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、 $\text{R}-\text{CO}-\text{NH}_2$ 分子の少なくとも 60 質量 % がモノアルキル分岐を有しそして $\text{R}-\text{CO}-\text{NH}_2$ 分子の 25 質量 % 未満が多アルキル分岐を有する。) の分岐第一脂肪酸アミドを含むポリマー組成物から前記フィルムおよびシートを製造する工程を含む、前記方法。

[11]

ポリマー組成物であって、

(A) 50 ~ 99 . 98 質量 % のポリオレフィンポリマー、および

(B) 0 . 02 ~ 3 質量 % の式 I :



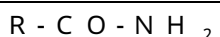
(但し、R は 11 ~ 23 個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、 $\text{R}-\text{CO}-\text{NH}_2$ 分子の少なくとも 60 質量 % がモノアルキル分岐を有しそして $\text{R}-\text{CO}-\text{NH}_2$ 分子の 25 質量 % 未満が多アルキル分岐を有する。) の分岐第一脂肪酸アミドを含む、前記組成物。

[12]

ポリマー組成物であって、

(A) 50 ~ 99 . 9 質量 % のポリスチレンポリマー、および

(B) 0 . 1 ~ 3 質量 % の式 I :



(但し、R は 11 ~ 23 個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、 $\text{R}-\text{CO}-\text{NH}_2$ 分子の少なくとも 60 質量 % がモノアルキル分岐を有しそして $\text{R}-\text{CO}-\text{NH}_2$ 分子の 25 質量 % 未満が多アルキル分岐を有する。) の分岐第一脂肪酸アミドを含む、前記組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

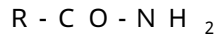
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

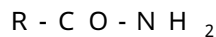
式 I :



(但し、R は 11 ~ 23 個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、 $R-CO-NH_2$ 分子の少なくとも 60 質量%がモノアルキル分岐を有しそして $R-CO-NH_2$ 分子の 0 質量%より多く 25 質量%未満が多アルキル分岐を有する。) の分岐、飽和、第一脂肪酸アミド混合物のポリマー中でのスリップ剤および / 又は抗ブロッキング剤としての利用法。

【請求項 2】

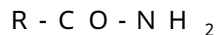
式 I :



(但し、R は 11 ~ 23 個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、 $R-CO-NH_2$ 分子の少なくとも 60 質量%がモノアルキル分岐を有しそして $R-CO-NH_2$ 分子の 0 質量%より多く 25 質量%未満が多アルキル分岐を有する。) の分岐、飽和、第一脂肪酸アミド混合物のポリマー中での離型剤としての利用法。

【請求項 3】

単層および共押出しのポリオレフィンフィルムのスリップ性を増大させそしてブロッキングを低減させる方法であって、式 I :



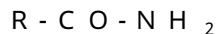
(但し、R は 11 ~ 23 個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、 $R-CO-NH_2$ 分子の少なくとも 60 質量%がモノアルキル分岐を有しそして $R-CO-NH_2$ 分子の 0 質量%より多く 25 質量%未満が多アルキル分岐を有する。) の分岐、飽和、第一脂肪酸アミド混合物を含有するポリマー組成物から前記フィルムおよびシートを製造する工程を含む、前記方法。

【請求項 4】

ポリマー組成物であって、

(A) 50 ~ 99 . 9 質量%のポリオレフィンポリマー、および

(B) 0 . 02 ~ 3 質量%の式 I :



(但し、R は 11 ~ 23 個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、 $R-CO-NH_2$ 分子の少なくとも 60 質量%がモノアルキル分岐を有しそして $R-CO-NH_2$ 分子の 0 質量%より多く 25 質量%未満が多アルキル分岐を有する。) の分岐、飽和、第一脂肪酸アミド混合物

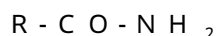
を含有する、前記組成物。

【請求項 5】

ポリマー組成物であって、

(A) 50 ~ 99 . 9 質量%のポリスチレンポリマー、および

(B) 0 . 1 ~ 3 質量%の式 I :



(但し、R は 11 ~ 23 個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、 $R-CO-NH_2$ 分子の少なくとも 60 質量%がモノアルキル分岐を有しそして $R-CO-NH_2$ 分子の 0 質量%より多く 25 質量%未満が多アルキル分岐を有する。)

の分岐、飽和、第一脂肪酸アミド混合物

を含有する、前記組成物。

【請求項 6】

前記ポリスチレンポリマーが、スチレンのポリマー又はコモノマーとスチレンのポリマーを含む、請求項 5 に記載のポリマー組成物。

【請求項 7】

前記ポリスチレンポリマーが、ハイインパクトポリスチレン（HIPS）、汎用の多目的ポリスチレンポリマー（GPPS）、アクリロニトリルブタジエンスチレン（ABS）、又はスチレンアクリロニトリル（SAN）を含む、請求項 5 に記載のポリマー組成物。

【請求項 8】

前記組成物が、成形品の形である、請求項 5 ～ 7 のいずれか一項に記載のポリマー組成物。

【請求項 9】

前記成形品が、食品容器および皿、家具、家庭用品、CD ケース、ならびに化粧品容器から選択される、請求項 8 に記載のポリマー組成物。